

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email:gakko@jpschool.cz

No.892 2017/7/21

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

つらいこともあれば、楽しいこともある

(朝会での校長講話)

私は、終わりの日には、必ず始まりの話をします。プラハ日本人学校の新学期は4月11日にスタートしました。その時に、三つの出会いについてお話しました。覚えていますか。新しいお友達や先生との出会い、チェコという国との出会い、そして自分との出会いです。とりわけ4月は新しいお友達や先生との出会いと同時に、全員がひとつ学年の上だった自分との出会いがありました。新しい生活へのドキドキ、ワクワクを大切にしながら、しっかりと目標をたててくださいというお話もしました。さて、4月に立てた目標は達成できましたか。何かができるようになったり、何かが上手になったりしましたか。また、自分の得意なことや長所を伸ばすだけでなく、逆に自分の苦手や短所を少しでも良くなるようにできましたか。さらに中学1年生は「努力を惜しまず、前へ前へと歩いていく」ことができたでしょうか。うなずいている人たちがたくさんいるのを見ると、とても心強く思います。



そして、学校は「学びあう場所」だということも4月に伝えました。授業でも 行事でも掃除の時間でも、つまりどんな時でも受け身で何かをやらされるのではなく、自分のめあてや考えをもつ、それを仲間と話し合う、説明できる、教えてあげる、一緒に何かをつくり上げることができましたか。そんな「学びあい」を通して、お互いが成長したという実感はありますか。

さて、明日からは夏休みです。学校に通わなくていいのですから、時間を自由に使える一か月です。その自由な時間を使って、夏休みにしかできない出会いを見つけてください。家族と一緒に出かけの見知らぬ国や聞いたこともない言葉を話す人々との出会いであったり、本との出会いであったり、あるいは宿題を親から言われなくても自分からできる「自分のやる気」との出会いであったりしてほしいと思います。

人の目は二つ、耳も二つ。どちらも一つだけではよく見えなかったり、きちんと聞けなかったりします。私たちの生活でも2つの物事がセットになっていませんか。つらい時もあれば、楽しい時もある。いいこともあれば、悪いこともある。出会いがあって、別れがある。そして、学校があって夏休みがあります。つらくてもがんばった一学期があったからこそ、楽しい夏休みがあります。逆にこんな風にも言えます。「良い夏休みを過ごした人は、がんばれる二学期を迎えられる」わけです。素敵な充実した休みを過ごしてください。

＝夏季休業中の工事のお知らせ＝

日本政府のテロ対策の一環として、地下にあるプール跡地を、緊急時の避難場所に改築します。また、爆弾によるガラスの飛散を防ぐフィルムを貼ったり、不審者の侵入を阻止するために校門を改修したり、入口にシャッターを設けたりする工事を行います。来校の際には、工事現場には近づかないようにしてください。工事費用につきましては、外務省から98%援助があります。二学期は、さらに出入り口のドアの防弾化と電子警備化を進めます。

また、二学期から5年生以上の教室には、施錠できるミニロッカーを児童生徒分設置し、貴重品を個人で保管できるようにします。



＝転出のお知らせ＝

小学部1年 シュレイマ くん

5年 杉山 さん

中学部2年 水田 くん